

2022年12月期 第2四半期 決算補足説明資料

井関農機株式会社

2022年8月10日

1. 2022年12月期第2四半期 業績の概要

2. 2022年12月期 業績予想



食と**農**と**大地**の
ソリューションカンパニー

1. 2022年12月期第2四半期 業績の概要

<第2四半期業績>

海外好調、国内は補助金反動・米価下落影響で減

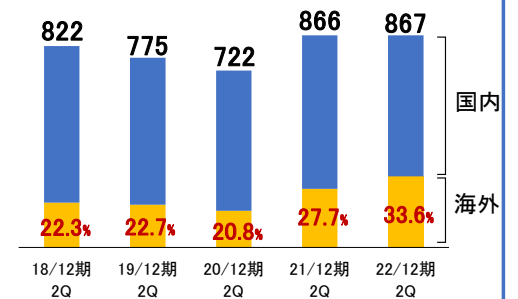
- 国内 : 前年同期にあった経営継続補助金などに伴う需要喚起の反動
米価下落による購買意欲減退
- 海外 : 全地域で増収
(北米)コンパクトトラクタ市場は調整局面も現地在庫レベル回復に向けた受注堅調。OEM先のシステムトラブルにより一部売上計上遅れ
(欧州)ライフスタイルの変化を捉え好調
- 収益 : 原材料価格高騰、サプライチェーン混乱による収益圧迫
物流関連など販管費の増加

<通期業績予想>

当初予想から変更なし

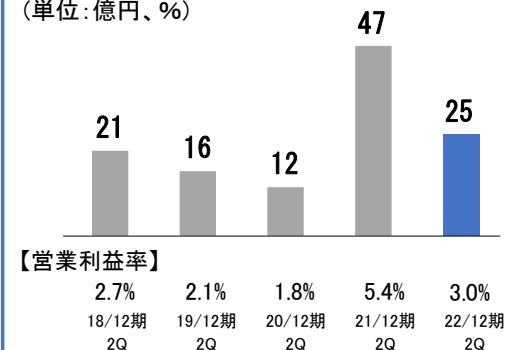
売上高推移(第2四半期)

(単位: 億円、%)



営業利益、率 推移(第2四半期)

(単位: 億円、%)



市場環境及び当社事業環境 (22/12期第2四半期)

【凡例】 ✓ =市場環境 ➤ =当社事業環境

市場環境と当社事業環境

✓ 新型コロナウイルス感染症の影響

<p><全体></p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ サプライチェーンの混乱(コンテナ不足、生産用部品調達遅れ) ➤ 原材料価格高騰
<p><国内></p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 展示会中止など営業活動に影響 ➤ 前年同期にあった経営継続補助金などに伴う需要喚起の反動
<p><海外></p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 北米:コンパクトトラクタ市場は調整局面も現地在庫レベル回復に向けた受注堅調 ➤ 欧州:ライフスタイルの変化に伴う需要増

✓ 国内米価下落(令和2年産米6月:14,225円/60kg⇒令和3年産米6月:12,618円/60kg) ※1

<p><国内></p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 農家の購買意欲減退
-------------------	---

✓ ロシアのウクライナへの侵攻

<p><全体></p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 販売面:この地域での営業活動を行っていないため直接的な影響はない ➤ 仕入面:サプライチェーンの混乱、原材料価格の更なる高騰懸念
-------------------	---

✓ 円安の進行

<p><全体></p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 営業利益での影響は軽微
-------------------	---

※1:相対取引価格(全銘柄平均) 出所:農林水産省 米に関するマンスリーレポート

連結業績の概要

(2022年1月1日～2022年6月30日)

(単位: 億円、%)

	18/12期 2Q実績	19/12期 2Q実績	20/12期 2Q実績	21/12期 2Q実績	22/12期 2Q実績	前年 同期比
売上高	822	775	722	866	867	+ 0
(国内)	639	599	572	626	575	△ 50
(海外)	183	175	149	240	291	+ 51
営業利益	21	16	12	47	25	△ 21
営業利益率	2.7%	2.1%	1.8%	5.4%	3.0%	△ 2.4%
経常利益	18	8	10	55	33	△ 21
親会社株主に帰属する 四半期純利益	16	6	9	41	25	△ 15
為替平均 レート (円)	米ドル 108.8 ユーロ 133.1	110.7	108.5	106.8	119.2 131.6	+12.4 +2.5

国内売上高

前年同期比
▲50億円

経営継続補助金などに伴う需要喚起の反動や米価下落による購買意欲減退
メンテナンス収入は維持

(単位:億円)		18/12期 2Q実績	19/12期 2Q実績	20/12期 2Q実績	21/12期 2Q実績	22/12期 2Q実績	前年 同期比
農機 製品 農機 関連	整地機	163	151	133	147	143	△ 3
	栽培機	64	61	55	64	55	△ 9
	収穫調製機	54	53	43	48	54	+ 5
	小計	282	266	231	259	253	△ 6
	作業機	117	119	106	135	109	△ 25
	部品	68	68	71	72	72	△ 0
	修理収入	26	26	27	28	28	△ 0
	小計	212	214	206	236	210	△ 26
	計	495	481	438	496	463	△ 32
	施設工事	33	13	30	19	12	△ 6
その他農業関連	110	104	103	110	98	△ 11	
合計	639	599	572	626	575	△ 50	

主な増減要因(前年同期比)

- ✓ 農機製品・作業機は経営継続補助金などに伴う需要喚起の反動に加え、米価下落による購買意欲減退により減収
- ✓ 製品、作業機の減収はあるも、部品、修理収入などのメンテナンス収入は前年同期を維持

海外売上高

前年同期比
+51億円

市場ニーズを捉えた販売推進に加え為替円安もあり全地域において増収

(単位:億円)	18/12期 2Q実績	19/12期 2Q実績	20/12期 2Q実績	21/12期 2Q実績	22/12期 2Q実績	前年 同期比
北米	58	66	50	78	84	+ 5
欧州	77	73	64	108	142	+ 34
アジア	45	33	34	51	61	+ 9
その他	1	2	1	2	3	+ 1
連結売上高 合計	183	175	149	240	291	+ 51

主な増減要因(前年同期比)

- ✓ 北米：コンパクトトラクタ市場は調整局面も現地在庫レベル回復に向けた堅調な受注により増収
OEM先のシステムトラブルにより一部売上計上遅れ
- ✓ 欧州：ライフスタイルの変化を捉え、コンシューマー向けを中心に販売好調、景観整備向け需要も回復しプロ向け販売も増加
- ✓ アジア：韓国排出ガス5次規制に伴う出荷集中による増収

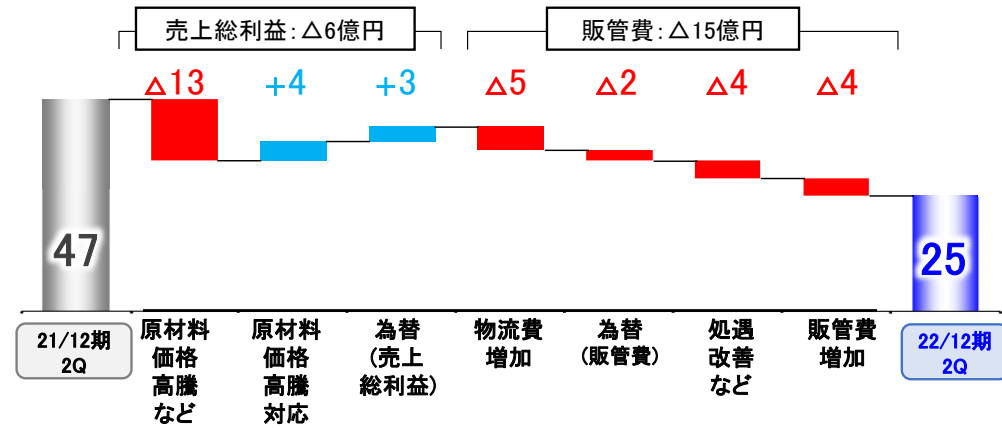
営業利益

前年同期比
▲21億円

原材料価格高騰影響により売上総利益が減少
物流関連など販管費増加

(単位: 億円、%) 【営業利益増減内訳(前年同期比)】

	18/12期 2Q実績	19/12期 2Q実績	20/12期 2Q実績	21/12期 2Q実績	22/12期 2Q実績	前年 同期比
売上高	822	775	722	866	867	+ 0
売上総利益	235	225	214	257	251	△ 6
売上総利益率	28.6%	29.1%	29.7%	29.8%	29.0%	△ 0.8%
販管費	213	208	201	210	226	+ 15
人件費	124	122	120	123	128	+ 4
その他経費	89	86	81	87	97	+ 10
営業利益	21	16	12	47	25	△ 21
営業利益率	2.7%	2.1%	1.8%	5.4%	3.0%	△ 2.4%



【為替影響(億円)】

売上	原価	販管費	営業利益
+15	△12	△2	+1

経常利益、四半期純利益

経常利益
前年同期比
▲21億円

前年同期にあった一過性の営業外収益の剥落はあるも
為替差益の増加により営業利益と同様の減益幅

(単位: 億円)	18/12期 2Q実績	19/12期 2Q実績	20/12期 2Q実績	21/12期 2Q実績	22/12期 2Q実績	前年 同期比
営業利益	21	16	12	47	25	△ 21
金融収支	△3	△3	△3	△3	△3	+ 0
その他営業外損益	0	△4	1	11	10	△ 0
経常利益	18	8	10	55	33	△ 21
特別利益	1	1	6	0	0	+ 0
特別損失	0	△1	△1	△1	△2	△ 0
税 前 利 益	18	7	16	54	31	△ 22
税、税調整額	△2	△1	△6	△12	△6	+ 6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	16	6	9	41	25	△ 15

営業外損益増減内訳(前年同期比)

為替差益	+4億円
受取和解金の剥落等	△4億円

バランスシート

前年同期末比

棚卸資産

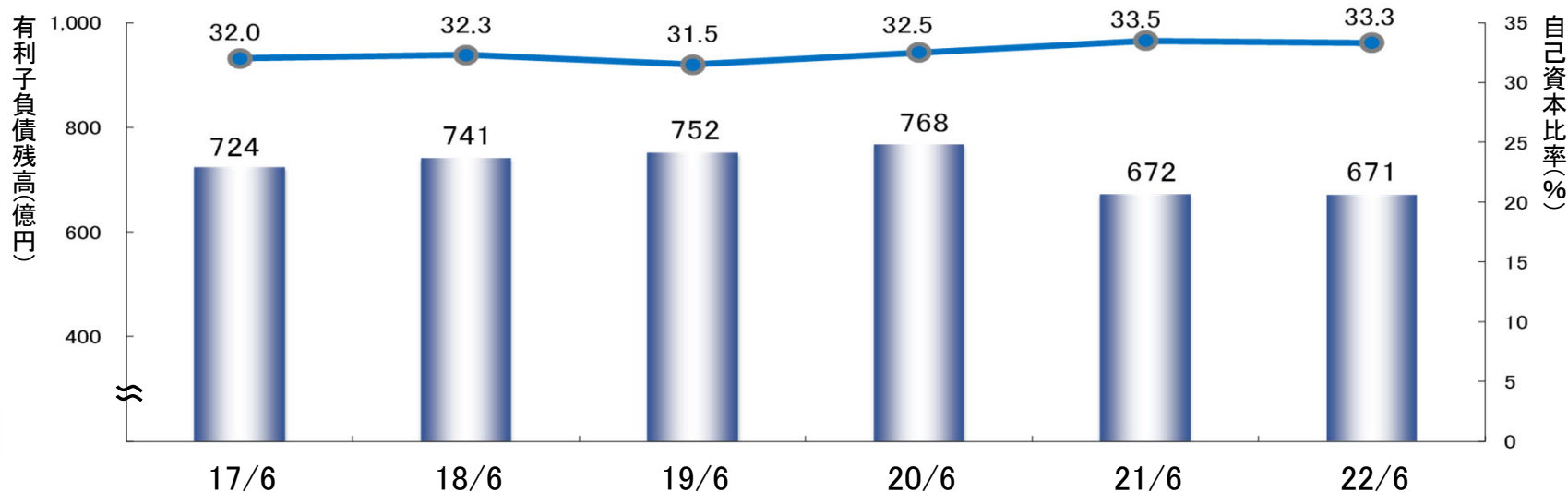
- ・商品及び製品：現地流通在庫不足対応による増
- ・仕掛品：サプライチェーン混乱により工場仕掛が増加

(単位:億円)	21/6月末	21/12月末	22/6月末	前期末比	前年同期末比		21/6月末	21/12月末	22/6月末	前期末比	前年同期末比
現預金	143	148	132	△ 16	△ 10	仕入債務	411	392	444	+ 51	+ 33
売上債権	321	215	343	+ 127	+ 21	有利子負債	672	621	671	+ 49	△ 1
棚卸資産	477	498	531	+ 32	+ 53	(借入金)	(594)	(549)	(601)	(+51)	(+6)
(商品及び製品)	(400)	(415)	(422)	(+7)	(+22)	その他負債	196	196	209	+ 12	+ 12
(仕掛品)	(65)	(70)	(95)	(+24)	(+29)						
その他流動資産	35	48	36	△ 11	+ 0						
流動資産計	978	911	1,043	+ 132	+ 65	負債計	1,279	1,211	1,324	+ 113	+ 44
有形固定資産	854	849	846	△ 3	△ 8	純資産	670	665	688	+ 23	+ 18
無形固定資産	22	22	23	+ 1	+ 1	(利益剰余金)	(186)	(176)	(195)	(+19)	(+9)
投資その他資産	95	93	99	+ 6	+ 4						
固定資産計	972	965	969	+ 4	△ 2						
資産合計	1,950	1,876	2,013	+ 136	+ 62	負債・純資産計	1,950	1,876	2,013	+ 136	+ 62

自己資本比率・有利子負債

有利子負債
D/Eレシオ

有利子負債は前年同期並み
D/Eレシオは0.97倍



借入金・社債	648	678	678	686	594	601
リース債務	76	63	74	82	77	69
有利子負債 計	724	741	752	769	672	671
D/Eレシオ	1.05倍	1.04倍	1.10倍	1.11倍	1.00倍	0.97倍

※D/Eレシオ=有利子負債/純資産 ※リース債務を含む

キャッシュ・フロー計算書

キャッシュ・
フロー

売上債権・棚卸資産の増加により当期営業キャッシュ・フローは△20億円

(単位:億円)	18/12期 2Q実績	19/12期 2Q実績	20/12期 2Q実績	21/12期 2Q実績	22/12期 2Q実績	前年同期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 4	9	△ 30	74	△ 20	△ 95
(税金等調整前四半期純利益)	18	7	16	54	31	△ 22
(減価償却費)	33	35	41	31	30	△ 1
(減損損失)	0	0	0	0	1	+ 1
(売上債権の増減額(△は増加))	△ 120	△ 115	△ 105	△ 102	△ 122	△ 20
(棚卸資産の増減額(△は増加))	0	△ 13	△ 24	44	△ 22	△ 67
(仕入債務の増減額(△は減少))	56	61	35	40	44	+ 3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 37	△ 47	△ 46	△ 13	△ 33	△ 19
(有形及び無形固定資産の取得による支出)	△ 36	△ 51	△ 49	△ 25	△ 31	△ 5
フリーキャッシュフロー	△ 41	△ 37	△ 77	61	△ 54	△ 115
財務活動によるキャッシュ・フロー	67	43	66	△ 29	32	+ 62
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	26	5	△ 10	32	△ 18	△ 51

2. 2022年12月期 業績予想

2022年12月期 連結業績予想

連結 業績予想

- ・当初予想から変更なし
- ・売上高内訳は第2四半期実績及び現時点での受注状況を踏まえ見直し

【通期連結業績予想】

(単位:億円、%)

	前回予想	※今回予想	増減
売上高	1,665	1,665	—
営業利益	47	47	—
営業利益率	2.8%	2.8%	—
経常利益	46	46	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	31	31	—

【売上高の内訳】

(単位:億円)

	前回予想	※今回予想	増減
売上高	1,665	1,665	—
(国内)	1,190	1,128	△ 62
(海外)	475	537	+ 62

※今回予想における通期平均為替レートは、
対米ドル=128.7円、対ユーロ=135.8円

2022年12月期 連結業績予想

【通期連結業績予想】

(単位: 億円、%)

	18/12期 実績	19/12期 実績	20/12期 実績	21/12期 実績	22/12期 今回予想	前期比	
売上高	1,559	1,498	1,493	1,581	1,665	+ 83	
営業利益	31	27	20	41	47	+ 5	
営業利益率	2.0%	1.8%	1.4%	2.6%	2.8%	+ 0.2%	
経常利益	26	11	17	46	46	△ 0	
親会社株主に帰属する 当期純利益	10	7	△56	31	31	△ 0	
期末配当(円)	30	30	0	30	30	± 0	
売上内訳	国内	1,228	1,177	1,159	1,173	1,128	△ 45
	海外	331	321	333	407	537	+ 129
為替平均レート (円)	米ドル	110.2	109.3	107.0	109.0	128.7	+ 19.7
	ユーロ	130.9	121.6	121.5	129.8	135.8	+ 6.0

将来の見通しに関する記述についての注意

- ・本資料は、情報提供を目的として作成しており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・本資料は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が作成したものでありますが、潜在的风险や不確実性が含まれており、経済情勢や市場動向の変化等により実際の結果と必ずしも一致するものではありません。
- ・ご利用に際しては、ご自身の判断でお願い致します。

本資料に掲載している業績予想や目標数値に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。



未来の
ために、
いま選ぼう。

井関グループは、
環境省による地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を
促す国民運動である【COOL CHOICE】の取組みに賛同しています。
「賢い選択」の提案として「エコ商品」など
環境に配慮した商品の開発普及を推進しています。

食から日本を考える。

**NIPPON
FOOD
SHIFT**